

生活指導だより

令和3年 4月16日
日置市立妙円寺小学校
生活指導部

新年度が始まり、子どもたちは新しい学年・学級にも少しずつ慣れ、マスク着用、座席を離しての授業を行う中、元気なあいさつとともに楽しく学校生活をスタートしています。

「学校のきまり」については30日(金)の学級PTA資料にも綴じてありますが、4月は特に次のことに気を付けていきましょう。

1 登下校の決まり

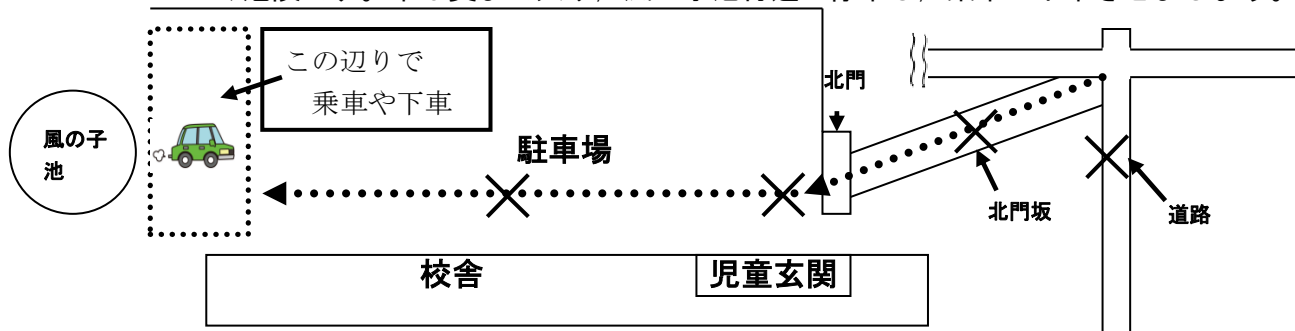
- ・ 通学路(歩道)を通り、7時30分から8時までに着くよう登校する。
(不審者対応のため、7時30分より前の登校はさせないでください。また、朝の会后、正門及び校舎北門側の戸を閉めます。)
- ・ 標準服・帽子・ネーム(新学年と学級名)・マスク着用をして登校する。(登下校中はネームを裏返すか、胸ポケットに入れる。)

☆ 登下校は、徒歩が原則です。雨の日の送迎が多いと、歩いて登校する子どもにとってはとても危険です。雨でも歩いて登下校する習慣をつけさせてください。

☆ けがや体調など事情がある場合は、乗り降りの場所に十分気を付けてください。

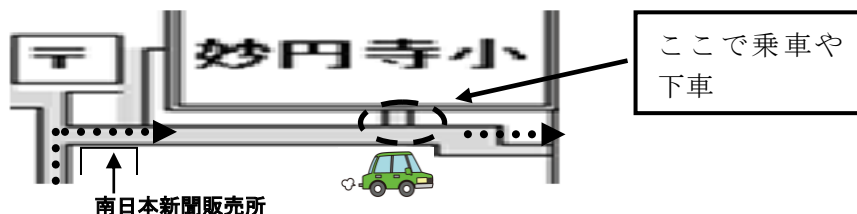
北門からの送迎

- ① 北門や北門までの坂、坂の下の道路、玄関付近での乗車・下車は、児童の出入りが多く危険です。車は奥まで入り、風の子池付近で停車し、乗車・下車させましょう。



南門からの送迎

- ① 車は、西側(南日本新聞販売所の方)から来てください。
 - ② 車は、南門に入らず、門前の広い場所に停車し、速やかに乗車・下車させてください。車は、折り返さずそのまま東側に進み、お帰りください。
- ☆ 近隣住民の皆様の迷惑にならないようお気を付けください。



2 服装のきまり

- ・ 靴は華美でない、運動に適したもの。
- ・ 靴下は、白・黒・紺などの無地かワンポイントとする。(長さは、くるぶしの隠れるものから膝下まで)
- ・ 髪の毛を止めるゴムや髪留めは、飾りの付いていない黒・紺・茶など華美でないものを使用する。

3 その他の決まり

- ・ 気持ちのよいあいさつや言葉遣いをする。
- ・ 必要でないお金や学習に関係ないものは持ってこない。
- ・ 公衆電話は、担任の許可を得てから使う。



- ・ 携帯電話は、学校へは持ってこない。

4 帰宅後や土・日曜日のきまり

- ・ 自転車に乗るときは、ヘルメットを着用する。
(1・2年生は道路では乗らない。3～6年生は校区内だけで乗る。)
- ・ 夕方は早めに家に帰る。(4～9月：6時まで、10～3月：5時まで)
- ・ お金の無駄遣い(無駄な買い物や友達へのおごりなど)をしない。用が無い場合、お店に入らない。
- ・ 校区外の外出は、原則、保護者同伴とする。

☆妙円寺小学校のあいさつの仕方

本校では一事徹底事項として「先手あいさつ 誰にでもく目指せ！あいさつ日本一！」を合言葉に、指導に努めています。



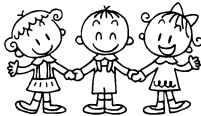
まずは、立ち止まって相手の目を見て、元気に言葉であいさつを交わす。
「おはよう
ございます！」



次に、頭を下げて、心であいさつを交わす。



「いじめ問題を考える週間」(4月19日〔月〕～4月23日〔金〕)



- いじめは人間として絶対に許されない行為である。
- 大人はいじめられた子どもを必ず守る。
- 決して自らの命を絶ってはいけない。

来週は「いじめ問題を考える週間」です。いじめは、子どもの健全な成長にとって見過ごせない影響を及ぼす、人権にかかわる重要な問題です。上記の3点を、子どもに伝えることが大切です。本校では、その対策として、年に3回「いじめ問題を考える週間」を設定しており、来週がその1回目です。今年度も全職員一丸となって、子どもたちを見守り、安心して楽しい学校生活を送ることができるようにしていきたいと考えています。

学校と家庭、地域、関係機関で更なる連携を図り、いじめ問題0に向けて取り組んでいきましょう。



☆参考 いじめられている子どもの出すサイン(家庭生活での観察の視点)

- 衣類の汚れや破れが見られたり、よくけがをしたりしている。
- 風呂に入りたがらなくなる。殴られた傷跡などを見られるのを避けるため、裸になるのを嫌がる。
- 食欲がなくなったり、体重が減少したりする。
- 寝付きが悪かったり、夜、眠れなかったりする日が続く。
- 部屋に閉じこもることが多く、ため息をついたり、涙を流したりする。
- 言葉遣いが荒くなり、親や兄弟などに反抗したり、八つ当たりをしたりする。
- 親から視線をそらしたり、家族に話しかけられることを嫌がったりする。
- 登校時刻になると、頭痛、腹痛、吐き気などの身体の不調を訴え、登校を渋る。
- 転校を口にしたたり、学校を辞めたいなどと言い出したりする。
- 家庭から品物やお金を持ち出したり、余分な金品を要求したりする。
- 親しい友人が家に来なくなり、見かけない者がよく訪ねてくる。友人からの電話で、不自然な外出が増える。
- 携帯電話やメールの着信音におびえている。
- パソコンやスマートフォン等をいつも気にしている。
- 「どうせ自分はだめだ」などの自己否定的な言動が見られ、死や非現実的なことに関心をもつ。
- 投げやりで、集中力がなくなる。ささいなことでも決断できない。
- 学校で使う物や持ち物がなくなったりわれたりしている。